

台風15号における大渡ダムへの洪水貯留について（速報）

今回の台風15号では、台風の接近に伴い、台風を取り巻く雨雲が次々に仁淀川流域にかかり、特に中流域は激しい豪雨となり、流域各地に被害をもたらしました。

大渡ダムでは、平成19年7月台風4号洪水以来、約4年ぶりの防災操作となり、洪水貯留を行いました。ここにその結果を速報いたします。



【9月21日8時30分頃の大渡ダム茶霧湖の様子】

平成23年9月21日（水）

<問い合わせ先>

国土交通省 四国地方整備局 大渡ダム管理所
管理所長 赤松 薫（あかまつ かおる）
管理第一係長 多田 寛（ただ ひろし）
TEL 0889-32-2120

1. 経過

大渡ダムでは、7月1日から10月10日までの間は、洪水に備えて洪水貯留準備水位188.5mまで水位を低下させることとしています。また、台風が、定められた区域に進入すると、更に最大11mダムの水位を低下させて（防災操作による洪水対応準備）、洪水に備える体制をとります。

今回の台風15号では、9月13日に防災操作による洪水対応準備区域内に発生し、迷走しながら、沖縄に接近、その後、秋雨前線に引きつけられるように四国沖に進路を変えたため、防災操作による洪水対応準備を開始し、9月20日午前8時頃までにダムの水位を181.7mまで低下させました。その後、台風15号による豪雨のため、ダムへの流入量が増加し、9月20日午後9時に防災操作による洪水貯留を開始する流量（2,100 m³/s）に達したため、確保していたダム容量を利用し、洪水貯留を開始しました。

2. 上流域の雨量

- 大渡ダム上流域の総雨量 約305mm（降り始め19日14時～21日6時）
- 上流域の最大時間雨量 20.6mm（20日14～15時）
- 大渡観測所最大時間雨量 54.0mm（20日6～7時）

3. 洪水貯留の効果

大渡ダムの洪水貯留により、大渡ダム下流の低平地箇所の浸水被害を軽減したものと推測されます。

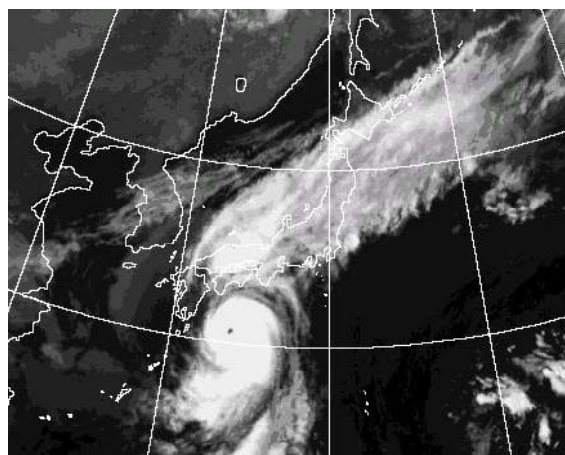
- ①大渡ダムの洪水貯留量 約300 m³/s（下記②～③）
- ②大渡ダム最大流入量 約2600 m³/s
- ③大渡ダム最大ダム流下量約2300 m³/s

4. 大渡ダムの洪水貯留による水位低下効果（推定）

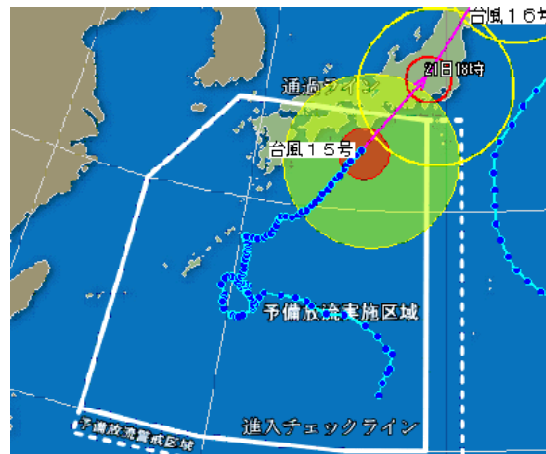
- 越知地点（越知沈下橋上流） 約0.3m
- 伊野地点（一般国道33号仁淀川橋上流） 約0.2m

※上記の水位低下効果は、最大洪水貯留量が各地点で発現したものと推定しています。

※今回のデータは速報値であり、変更になる場合があります。

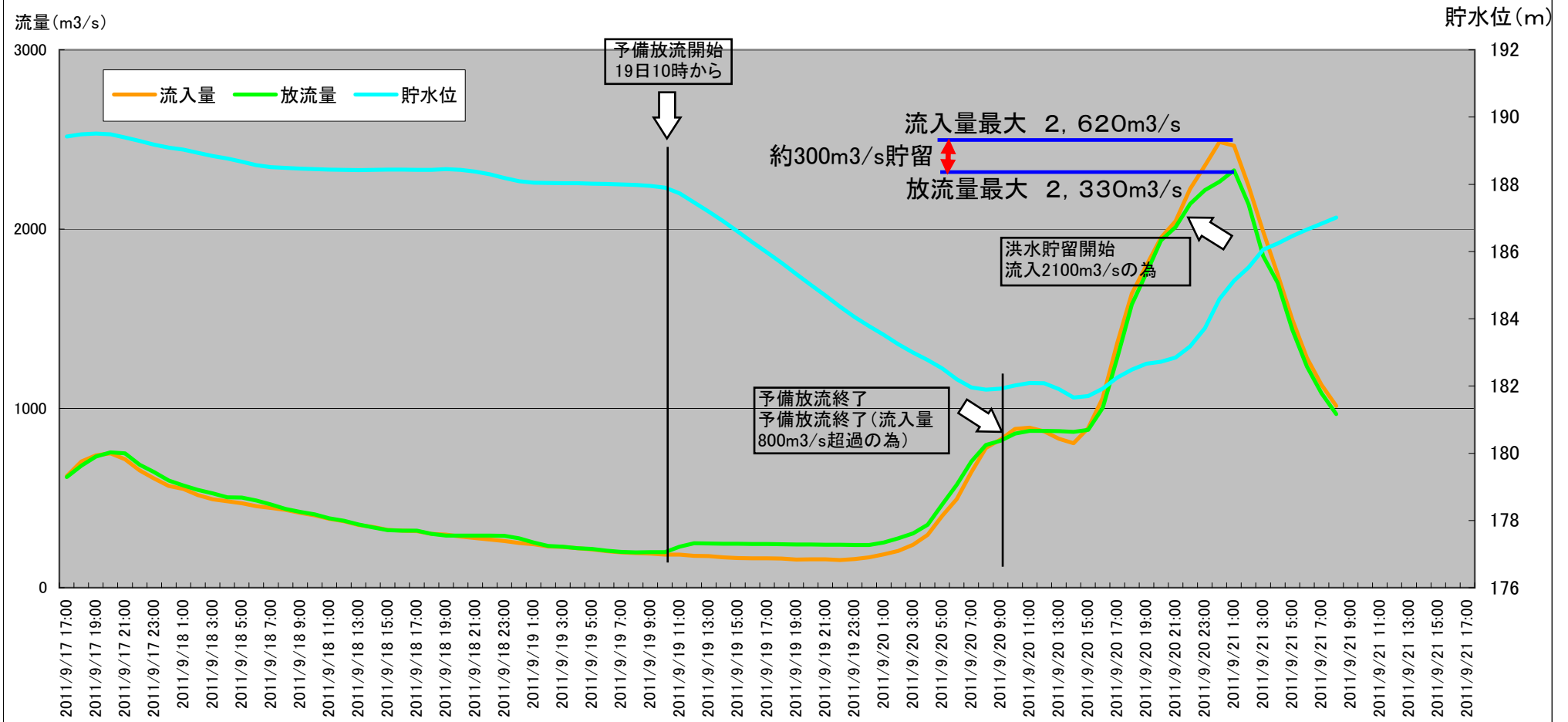
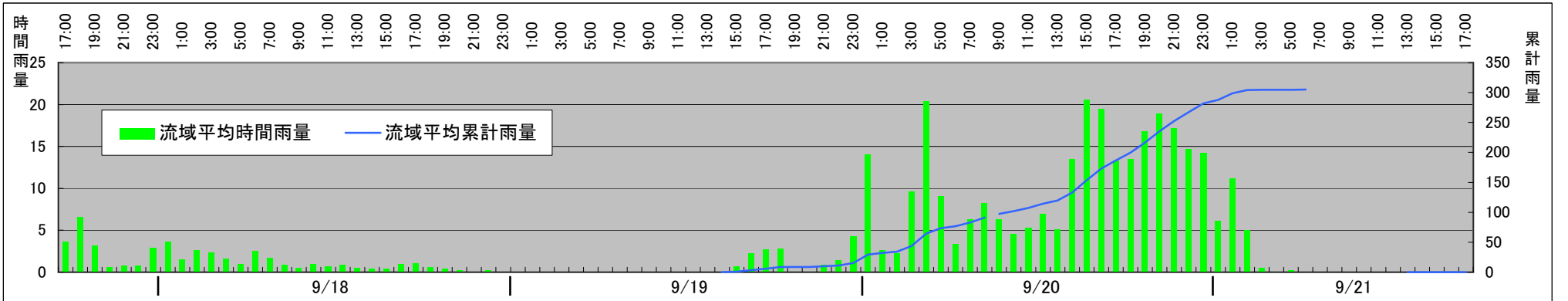


【9月20日23時頃の台風15号】



【台風15号の経路】

大渡ダム洪水貯留状況

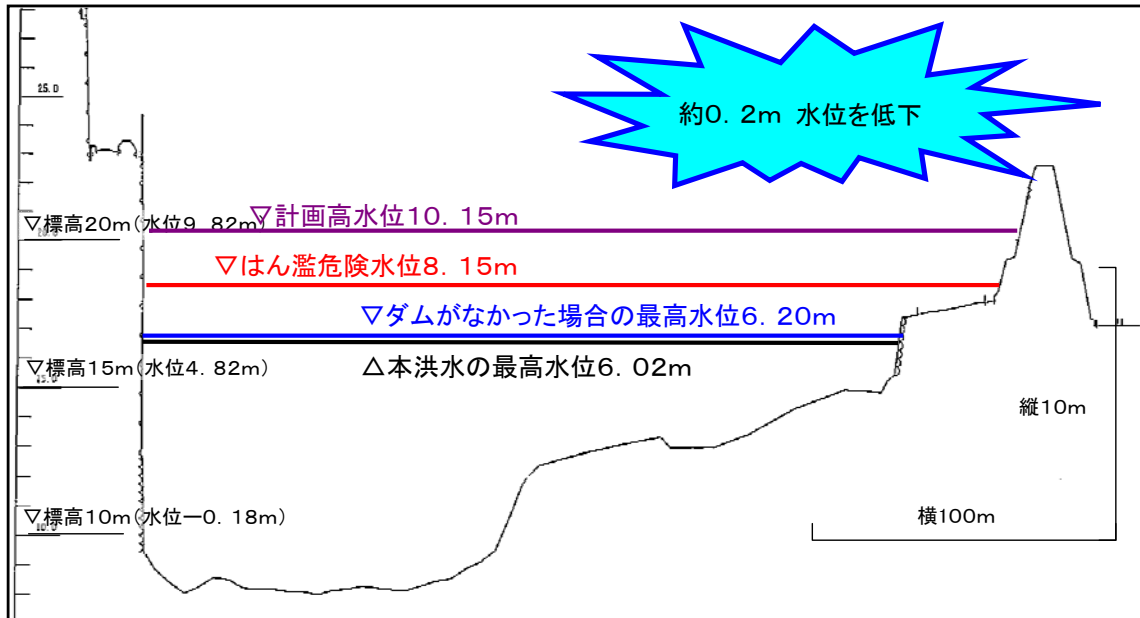


平成23年 台風15号出水における大渡ダムの洪水貯留効果

(流出規模:大渡ダム最大流入量約2600m³/s)

伊野地点における大渡ダムの洪水貯留効果

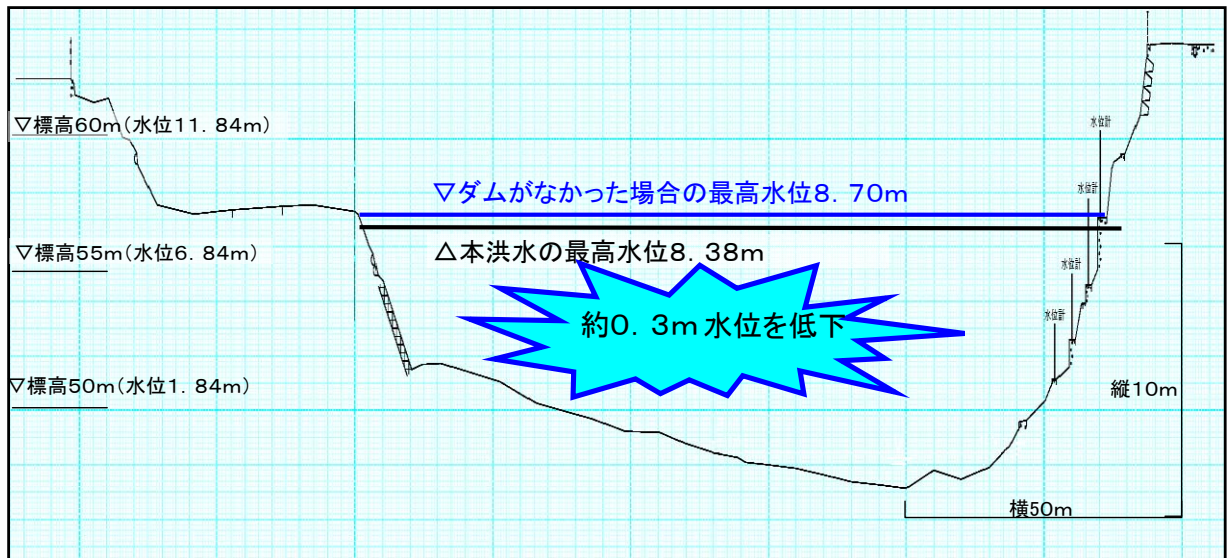
場所:伊野水位観測所(一般国道33号仁淀川橋上流)



※上記の水位低下効果はダムによる洪水貯留が、各地点で発現した場合の推定値です。

越知地点における大渡ダムの洪水貯留効果

場所:越知水位観測所(越知沈下橋上流)



※上記の水位低下効果はダムによる洪水貯留が、各地点で発現した場合の推定値です。

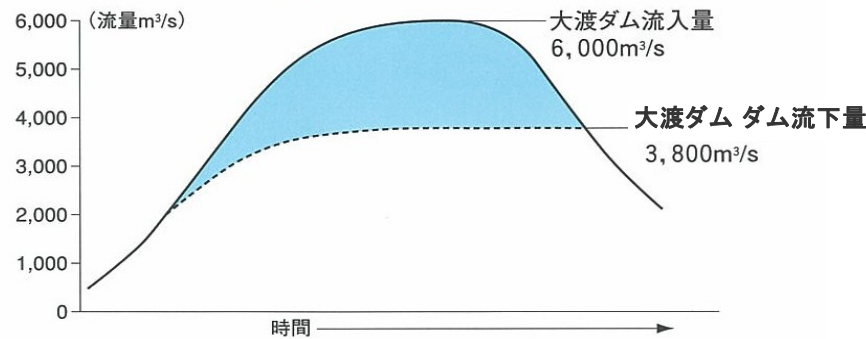
◆ 大渡ダムの概要

大渡ダムは、仁淀川の河口より上流約66km地点に位置しており、防災操作、不特定かんがい用水、水道用水、電力用水を目的に管理しています。
 ひとつのダムを治水・利水と多目的に使用することから、1年の中で洪水期(7月1日～10月10日)と非洪水期(10月11日～6月30日)に分けられ、治水容量、利水容量の配分が下の貯水池目的別容量配分図のように変化します。

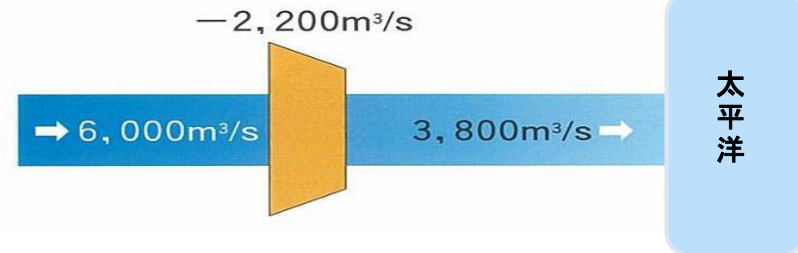
◆ 大渡ダムの洪水貯留操作

大渡ダムでは、計画最大流入量毎秒6,000m³のうち、毎秒2,200m³をダムの貯水池に貯め、流入量よりダム流下量を少なくする洪水貯留操作によって、川の水量を少なくしています。その効果は管理開始以後、台風性降雨に起因する計14洪水で洪水貯留操作を実施し、下流の人々の生命や財産を守っています。

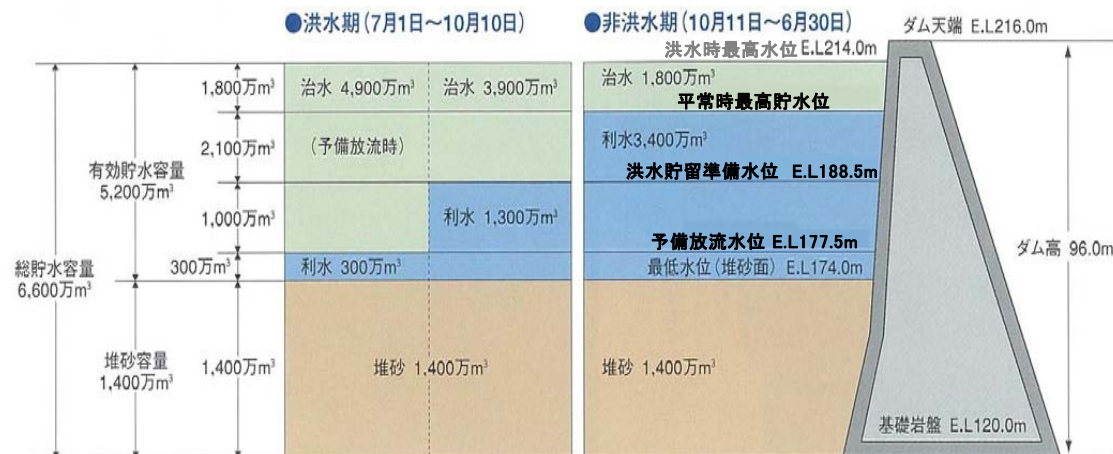
洪水貯留操作図



● 仁淀川流量配分図



貯水池目的別容量配分



洪水貯留操作実績表

洪水年月日	最大流入量 (m ³ /s)	最大ダム流下量 (m ³ /s)	洪水貯留量 (m ³ /s)	発生原因
平成 元年 9月 18日	2,620	2,144	476	台風22号・秋雨前線
平成 4年 8月 8日	2,360	2,209	154	台風10号
平成 5年 8月 10日	3,122	2,571	572	台風7号
平成 5年 9月 4日	3,979	2,919	1,086	台風13号
平成 9年 9月 16日	4,061	3,071	1,438	台風19号
平成 10年 10月 17日	2,772	2,408	364	台風10号
平成 11年 7月 26日	2,724	2,387	364	台風5号
平成 16年 6月 21日	2,317	2,195	135	台風6号
平成 16年 8月 30日	4,463	3,155	1,445	台風16号
平成 16年 9月 7日	2,602	2,305	297	台風18号
平成 16年 9月 29日	2,751	2,380	371	台風21号
平成 16年 10月 20日	4,491	3,160	1,331	台風23号
平成 17年 9月 6日	4,655	3,230	1,462	台風14号
平成 19年 7月 14日	3,202	2,622	607	台風4号・梅雨前線

※ 洪水貯留量は最大流入量時の貯留量を表す。